奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2022. 6. 3. 通算№1761

MATSUMOTO EAST

２０２１－２０２２年度会報
会長／福田雅春　幹事／舘島 豪

6 月 24 日(金)の予定
休会（クラブ定款）
7 月 1 日(金)の予定
新役員・理事あいさつ

事務所／松本市深志 1-1-21　中田歯科ビル 5F
TEL:0263-36-7737　FAX:0263-36-6009
例会場/ホテルブエナビスタ　例会日/金曜日 12:30～

委員長/永田利行
副委員長/籾山志基
委員/土屋 眞峯 越場 飯嶌

☆★☆★☆★

タリー地区が難民や被災者支援のための補助金を申請できる体制を整えました。

●横組４ページから指定記事「ＲＩ会長メッセージ」シェカール・メータ会長からのロータリーの友としては最後のメッセージが１年間の活動ダイジェスト写真とともに掲載され、今年度の活動の成果と世界のロータリアン、国際ロータリー職員への感謝が綴られています。

●横組６ページ「日本のロータリー」　約１年前に雑誌評論を致しました際、クラブ数などについてピックアップしたので１年前の６月号と今月号で比較すると、クラブ数で 13、会員数で 1,637 人減少していました。新型コロナウィルス禍の影響も甚大ですが、厳しい世情を映しているのではないかと感じております。

●横組７ページから「2022 年規定審議会リポート」3 年に一度開催される RI 唯一の立法機関である規定審議会が、今年 4 月 10 日から 14 日の日程で開催されその報告特集が記載されています。多岐にわたるリポートですが、個人的ピックアップとして、今回の規定審議会で特に注目を集めたとされる地区運営に関する制定案（22-71）が気になりました。会員増強対策や RI 定款に拘束されないクラブガバナンスの方法の考察など新しい管理構造を試験的プロジェクトとして実証するための制定案ということで、オーストラリア・ニュージーランドを含むゾーン 8 とグレートブリテンおよびアイルランド内国際ロータリーの２地域に限定して実施を図るものとされ、国際ロータリー定款の第 8 条第 2 節に「クラブ数 6000 以下の地域で 6 年間の期限付きで実施する」との一項（e）を追加する内容で、賛成 324、反対 150 で採択されたとのことです。

●縦組４ページから「科学の目で見た海のプラスチックごみ」　九州大学応用力学研究所付属大気海洋環境研究センターの磯辺教授による昨年７月に糸島ロータリークラブ主催で行われた環境保全事業講演要旨の掲載です。海のプラスチックごみについては近年話題になることが多くなりましたが、具体的な調査に基づく講演要旨は大変勉強になりました。手前事で大変恐縮ながら、私の勤務する長野放送では環境省と日本財団が進める「海と日本プロジェクト」の「CHANGE FOR THE BLUE 海ごみゼロ運動」について、長野県事務局として活動しております。海なし県の信州でありますが磯辺教授が指摘される通り、上流河川からも海ゴミは流れ込んでいる、という観点から長野県内の河川廻りでのごみ拾い活動を推進しております。皆様のお近くでこの海ごみゼロ活動がありましたら是非ご参加をご検討いただければと存じます。

【次年度会長方針説明】　　小林正樹会長エレクト

国際ロータリー２０２２－２０２３年度は、初の女性ＲＩ会長、カナダのジェニファーＥ・ジョーンズ氏で、会長テーマは「イマジンロータリー」。世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かすよう呼びかけています。これを受けＲＩ２６００地区上沢広光ガバナーは、地区標語を「ロータリーはみんなを幸福にする」とし、①クラブ活性化のための青少年奉仕活動 ②職業奉仕活動の重要性 ③友達作り（親睦）の強化 ④各グループで合同の奉仕活動を実施 を重点目標に挙げました。

現状第６波とみられるコロナ禍は、奇しくも「オンライン」によるハイブリッドなど新たなコミュニケーション手段の普及、発展につながりました。これまでロータリーは対面し、また集まることが前提でしたが、世界や遠隔地とインターネットを介して情報発信ができ、また言語の違い（壁）も IT の恩恵で克服されてきました。これらツールを使い分け、運営コストを抑えつつ奉仕の効果を最大限に発揮していく必要があると考えます。

自クラブでは引き続き会員拡大を図ります。在籍年数の長い、諸先輩の功績と社会奉仕を継承し、新しいメンバーや活動リーダーをお迎えするには、これまでのロータリーの活動や歴史を再認識することも大切です。「これまで」の理解を深め、「これから」のロータリーを描いていきましょう。

そしてメンバーが活動に積極的に参加するとともに、地域の青少年やそのご家族、友人、知人にロータリーを広く発信していく事業を推進します。

【新年度のテーマ】
「クラブの未来を描こう　イマジン松本東ロータリー」
【行動計画】
１．自クラブを知る、会員拡大に取り組む
２．「小学生による英語スピーチフェスティバル」を開催し、日ごろの学習成果を発表する
機会にしていただく。事業を広く広報・発信しロータリーの公共イメージ向上に努める。
３．今後の「留学生による日本語スピーチコンテスト」継続のため、留学生・大学とのコミュニケーション、連携を続けていく
４．「浅間温泉ホタルの里づくり環境整備作業」に参加する
５．中田金一ガバナー補佐を支援する

【点鐘 13：10】　　福田会長